



山形県青年の家より隔月発行でお知らせしています



R3.12・R4.1月号

発行日 令和4年2月24日
発行 山形県青年の家
〒994-0032
天童市小路一丁目7-8
TEL 023(654)4545
FAX 023(652)2007

青少年ボランティアの風を巻き起こそう！

ファシリテーションを学んで話し合いの仕掛け人になろう！

-12月11日(土)に「YYボランティアの集い」を開催-

高校生28名(山辺・北村山・上山明新館・山形北・山形城北)、大学生4名(山大・東北文教大)、青年1名を合わせた33名の青年たちが県内各所から集まってくれました。

【話し合いをイキイキさせよう】

日本ファシリテーション協会中部支部の一木茂氏から、ファシリテーション(人々の活動が容易になるように支援しゴールに向けて舵取りすること)についてのグループワークの研修を行いました。4人で1グループになり、「ファシリテーター」(進行役)・「グラフィッカー」(板書係)・「タイムキーパー」(計時係)などの役割に分かれ、もやしのお約束【目的・目標(も)、役割(や)、進行表(し)]に従って、話し合いを行いました。1回目のテーマは、「話し合いの場面での“あるある”をたくさん出しましょう」。普段の話し合いとは異なる方法に参加者は戸惑いながらも、各グループで盛んに意見が出されていました。役割を変えた2回目のテーマは、「どうしてそういうこと(あるある)が起きているのでしょうか?」。1回目の意見に対する要因を出し合いました。話し合いの場で意見を見える化することで話し合いは整理され、「イキイキ」とした話し合いが各グループで展開していたのが大変印象的でした。



【アイスブレイキングでイキイキ】

山形県レクリエーション協会の鈴木藤弥氏から、「グーパー」や「ジャンケン〇〇」などのアイスブレイキングの実技指導を受け、参加者の気持ちを「イキイキ」させることができました。



【バルーンアートでイキイキ】

鮭川村YYボランティアサークルSAKEKKO指導者の井上多加志氏から、バルーンアートの作り方を学びました。捻ると割れやすいバルーンと悪戦苦闘しながら、参加者の皆さんは「イキイキ」と教え合いながら、剣や犬などの制作に励むことができました。



参加者からの満足度も非常に高く、「楽しみながら学べるスキルをつけることができこれからの自分のためになった」、「自分の進路のためと思って参加したが、他の人のためにボランティアをしてみたいと思えるようになった」などの感想が寄せられました。今回学んだことを今後の生活に「イキイキ」させてほしいと思います。

SDGs×ボランティア=無限大?

-12月25日(土)に「ボランティア実技研修会」を開催-

9月から延期していた「ボランティア実技研修会~SDGs×ボランティア~」には、高校生26名(山辺・米沢東・山形明正・山形北・長井・南陽)を中心に、下は中学生から上は成人までの31名が県内各所から集まりました。



【アイスブレイキングで心もほかほか】

県青年の家鈴木研修主査からアイスブレイキングの講義・実演を学びました。「じゃんけん列車」など全員で活動した後、午後のワークショップのグループに分かれ、「4マス自己紹介」などをしました。グループ内の雰囲気は暖まってきたところで、グループ対抗で「ペーパータワー」を作って競い合い、さらに仲を深めることができました。



【地域食堂を通してSDGsを学ぶ】

南陽市青年グループ「Zu-Zu-Zu」の小川真実氏から「地域食堂あまやどりを通して、地域を知る」という演題の講演を聞きました。南陽市でも新型コロナウイルスの流行により、市社会福祉協議会に小口貸付等の相談が相次いだことから、小川氏を中心とする青年グループが2021年4月に「地域食堂あまやどり」をゼロからスタートさせたそうです。南陽市中高生ボランティアサークル「にじ」のメンバーが、地域食堂の活動に関わり始め、地域食堂の補助や月1回のイベント運営で活動している話を聞きました。高校生が地域に参画する場が「地域食堂」



から始まっていることを知り、参加者は小川氏の話に心を打たれていました。

【SDGsの視点でボランティアを生み出す?】

SDGsの17の到達目標について確認した後、県青年の家沼澤研修課長から「SDGs×ボランティアを企画してみよう」というテーマで、4人1グループに分かれてワークショップを行いました。まず、アイデアを生み出す可能性を体験するため、「健康でいられる×文房具」という式に沿ってアイデアを出し合いました。さらに、「SDGsの視点で解決したい地域課題」や「自分たちの強み」、「パートナーシップ」などについて考えを出し合うワークを行い、最後にワークを全てかけ合わせた「新たなボランティア活動」を創出する「かけ算イノベーション」を行いました。普段我々が想像できないようなボランティア活動を各グループで出し合うことができました。ボランティア精神に溢れる参加者の今後に期待したいと思います。



【かけ算イノベーション】で生み出されたボランティア!

- ・「高齢者と学生で使われていない土地に木を植えて緑を増やす」
- ・「小学生とゴミ拾いしながら地域のよさを見つける」
- ・「民生委員と協力し引きこもりがちな高齢者を学校に呼んで交流する」

～甘酒の神秘と秘伝豆の味噌づくり～

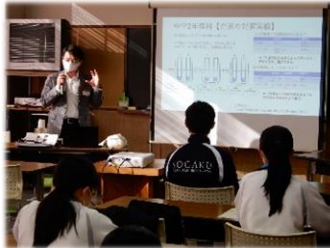
-1月15日(土)に青年の家体験講座「地域の食と文化を学ぶ」を開催-

地域の食文化を学ぶ楽しさを実感してもらうことや、地域が有する食に係る環境と知恵を理解することなどを目的として行いました。県内各地から8名の高校生(山辺・鶴岡北・創学館)と2名の大学生(保健医療大)が参加しました。



【麴が醸す甘酒の魅力】

出羽桜酒造株式会社営業部長兼社長室長の仲野賢氏から、麴に関して日本酒と味噌の違い、甘酒の詳細と健康への効果等を丁寧に説明していただきました。ご厚意により、出羽桜酒造の吟醸酒用の麴で醸した甘酒を試飲しました。芳醇な香りが漂う中に甘みがあり、大変おいしかったです。



【叩いて混ぜる味噌づくり】

天童市西沼田遺跡公園職員の渡邊淑恵氏、秋保佐恵子氏を講師に招き、「みそ作り体験」を行いました。西沼田遺跡公園で収穫された「秘伝豆」(下茹でされたもの)を、参加者が一齐に麴棒などで叩いて粒を潰していくと、秘伝豆の何とも言えない香ばしい香りが室内に漂ってきました。そして、潰し終わった秘伝豆に塩と米麴と豆のゆで汁を加え、ボウルで混ぜ合わせたものを「みそ玉」にして持ち帰りました。このみそ玉を風通しの良い場所に10か月ほど寝かせると味噌の完成となります。寒の時季に仕込んだ味噌が美味しく発酵するといいですね!!



12・1月の利用団体

【宿泊利用】

- ・バスケットボールスクール ハーツ
- ・(株)日本ハウスHD山形支店



〔12/18・19 バスケットボールスクール ハーツ〕

【日帰り利用】

- ・KBC(バドミントン)
- ・1バド(バドミントン)
- ・天童市バドミントンスポーツ少年団
- ・大石バドミントン
- ・天童四中サンデーシャトルズ(バドミントン)
- ・かしわ男子バスケットボールクラブ
- ・1st. B. C(バスケットボール)
- ・R48女子バスケットボールスポーツ少年団
- ・バスケットボールスクール ハーツ
- ・TGBスポーツ少年団(ソフトテニス)
- ・AT4G(ソフトテニス)
- ・AT4B(ソフトテニス)
- ・TKS(ソフトテニス)

- ・SPT(ソフトテニス)
- ・天童ウィナーズソフトテニススポーツ少年団
- ・西崎女子ソフトテニス
- ・天童ジュニアソフトテニスクラブ
- ・東海林ソフトテニスサークル
- ・さくらんぼスポーツクラブ(バレーボール)
- ・山形スマイルガールズ(トレーニング)
- ・山形県商業教育研究会
- ・山形県青年の家
- ・「YYボランティアの集い」
- ・「ボランティア実技研修会」
- ・青年の家体験講座
- ・「地域の食と文化を学ぶ」
- ・「地域をつくるリーダーセミナー」